

# 区政Now！（令和5年12月号）

「区政は区民を幸せにするシステムである」…西川太一郎



本年も残すところ、ひと月を切りました。今年はコロナ禍からようやく日常生活が落ち着きを取り戻し、区においても、4年ぶりの開催となった川の手荒川まつりを始め、数多くの事業やイベントを実施することができました。

来年もより多くの区民の皆様の笑顔あふれる地域づくりを推進してまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。どうぞよいお年をお迎えください。

## 荒川区功労者表彰式を行いました

◇ 令和5年11月10日(金)にサンパール荒川で荒川区功労者表彰式を行いました。

### 区功労者表彰式の概要

- ▶ 荒川区功労者表彰は、多年にわたり荒川区の振興と発展のために力を尽くされた方々の功績をたたえ、感謝の意を表し、表彰するものです。今年度は、13分野で79名の方を表彰しました。
- ▶ 今後も、受賞された方々をはじめ、区政にご貢献いただいている皆様と手を携え、区が誇りとする地域力を生かして「幸福実現都市あらかわ」の実現を目指してまいります。



区功労者表彰式の様子

## 日暮里道灌まつりを開催しました

◇ 令和5年11月11日(土)に日暮里駅前イベント広場で、日暮里道灌まつりを開催しました。

### イベントの様子

- ▶ 当日は、「伊勢原手作り甲冑隊」の迫力ある寸劇や太田道灌紙芝居、区立諏訪台中吹奏楽部による演奏など数多くのステージイベントが開催されました。
- ▶ また、神奈川県伊勢原市や日吉商店街連合会(神奈川県川崎市)、埼玉県越生町等の太田道灌ゆかりの自治体・団体によるブースが出店し、多くの来場者で賑いました。

### ▼伊勢原手作り甲冑隊による寸劇



### ▼多くの来場者で賑う会場



### 太田道灌と荒川区

- ▶ 太田道灌は、室町時代に江戸城築城した人物として知られ、江戸城の出城があったとされる日暮里の道灌山や、三河島に残る山吹の里伝説、道灌が支援した武蔵千葉氏の居城の石浜城址など、ゆかりの地が多く存在します。

## 荒川リバーサイドマラソンを開催しました

◇ 令和5年11月19日(日)、荒川リバーサイドマラソン実行委員会、荒川区、荒川区教育委員会が主催する「第30回荒川リバーサイドマラソン」を開催しました。荒川リバーサイドマラソンは、荒川区最大のスポーツイベントであり、今年は1,267人のランナーがエントリーしました。

### 当日の様子

- ▶ 気持ちの良い秋晴れの下、子どもから大人まで幅広い年代の方々が2km、3km、5km、10kmの各種目にエントリーし荒川河川敷を駆け抜けました。
- ▶ 親子で参加する方、自分自身の記録に挑戦する方など、それぞれが、真剣ながらも笑顔でゴールを目指し力走しました。



2km ふれあいマラソンの部のスタート

## 日暮里ファッションデザインコンテスト2023公開展示会を行いました

◇ 全国有数の繊維関連品の集積地である「日暮里繊維街」を全国にPRするとともに、これからの繊維・ファッション産業を支える人材育成を目的に、日暮里ファッションデザインコンテストを開催しています。

### イベントの内容

- ▶ 18回目の開催となった今年は「ファッション・チャレンジ 2023—新たな日常と融合する街着を繊維の街・日暮里から—」をテーマに作品を募集し、全国から1,515人、計3,679点の応募がありました。
- ▶ この中から選ばれた40点の入選作品を、11月7日(火)から12日(日)までの間、ふらっとにっぽり(荒川区立日暮里地域活性化施設)で展示を実施しました。

### グランプリ(経済産業大臣賞)・荒川区長賞受賞作品

- ▶ 栄えあるグランプリには、サステナブル(持続可能)を意識して、裁断する際に出た、通常であれば廃棄される布を使用した作品が選ばれました。
- ▶ グランプリを受賞した鳥居楓月(とりいふづき)さんは、「とても悩みながら制作しましたが、受賞することができてすごくうれしいです。これからもいろいろなことに挑戦していきたいです」と話していました。
- ▶ 荒川区長賞には、ギリシャの国花であるアカンサスの模様から着想し、左右対称に刺繍を施した深浦侃(ふかうらかん)さんの作品が選ばれました。



グランプリ受賞作品:中央  
荒川区長賞受賞作品:右